

Japan PBSS 現地開催イベント New Approach Methodologies - 開発から活用、規制受容、そして事業化へ

ハイブリッド（対面／Zoom）：無料



日時 : 2026年12月05日（土）13:00～19:30
会場 : 日本橋ライフサイエンスハブ LSH-E 会議室
（中央区日本橋室町1-5-5 室町ちばぎん三井ビルディング 8階（COREDO室町3））
参加方法 : 事前登録制
申込リンク : <https://www.pbss.org/eventDetails/1103>

NAMsの概要 & 製薬企業におけるNAMsの活用と考え方（毒性）



奈良岡 準 氏
日本製薬工業協会
コーディネーター兼NAMs専門チームリーダー

製薬企業におけるNAMsの活用と考え方（薬物動態）



後藤 昭彦 氏
武田薬品工業株式会社
DMPK & Modeling ディレクター

製薬ベンチャーにおけるiPS創薬の展開について（創薬・薬理）



福島 弘明 氏
株式会社ケイファーマ
代表取締役社長

規制当局におけるNAMsの評価と考え方



西村 次平 氏
独立行政法人 医薬品医療機器総合機構（PMDA）
スペシャリスト（毒性担当）

主催：一般社団法人 Japan Pharmaceutical & BioScience Society (<https://www.pbss.org/chapter/Japan>)

Japan PBSS 問い合わせ窓口: info.japan@pbss.org

Japan PBSS 創薬エコシステムシリーズ Vol.2

Bench to Bell, and Beyond

-創薬スタートアップの資金調達：起業から上場、そしてその先の成長戦略-

ハイブリッド（対面／Zoom）：無料

アカデミアにおけるNAMs研究と事業化



伊藤 弓弦 氏
筑波大学
教授

パネルディスカッション Beyond（持続的成長）に向けた戦略と実行

モデレーター：伊藤 弓枝 氏（筑波大学）

登壇者：本プログラムの講演者各氏

奈良岡 準 氏（日本製薬工業協会）

後藤 昭彦 氏（武田薬品工業株式会社）

福島 弘明 氏（株式会社ケイファーマ）

西村 次平 氏（独立行政法人 医薬品医療機器総合機構（PMDA））



舟越 俊介 氏（京都大学iPS細胞研究所）



Japan PBSS 現地開催イベント New Approach Methodologies - 開発から活用、規制受容、そして事業化へ

ハイブリッド（対面／Zoom）：無料



プログラム

13:00～13:15 Japan PBSSおよび本会のテーマの紹介

上村 成章、朝倉 省二（Japan PBSS）

13:15～14:00 NAMsの概要&製薬企業におけるNAMsの活用と考え方（毒性）

奈良岡 準（日本製薬工業協会）

14:00～14:30 製薬企業におけるNAMsの活用と考え方（薬物動態）

後藤 昭彦（武田薬品工業株式会社）

14:30～15:15 製薬ベンチャーにおけるiPS創薬の展開について（創薬・薬理）

福島 弘明（株式会社ケイファーマ）

15:15～15:30 Sponsor Presentation

スポンサー複数社

15:30～15:45 Coffee Break

15:45～16:00 Sponsor Presentation

スポンサー複数社

16:00～16:30 規制当局におけるNAMsの評価と考え方

西村 次平（独立行政法人 医薬品医療機器総合機構（PMDA））

16:30～17:00 アカデミアにおけるNAMs研究と事業化

伊藤 弓弦（筑波大学）

17:00～18:00 パネルディスカッション ―今後のNAMs活用のあり方

モデレーター：伊藤 弓弦（筑波大学）

パネリスト：上記登壇者、舟越 俊介（京都大学iPS細胞研究所）

18:00～18:10 クロージング

山本 憲幸（Japan PBSS）

18:10～19:30 Happy Hour & Networking